

大阪支部の課題及び健康づくり戦略（案）について



広報部鳥 けんぼん
©2018 協会けんぽ大阪支部



1. 大阪支部 課題シート

	課題
1	◎健診の実施率が全国平均を大きく下回る。（健診の必要性への理解が低い） ・生活習慣病予防健診実施率が53.2%（43位）と低い。 ・事業者健診データ取得率が6.3%（34位）と低い。 ・特定健診実施率が26.6%（40位）と低い。 ・道路貨物運送業の業態の事業所の実施率が55.4%（45位）と低い。 ・50人未満の中小規模事業所での実施率が低い。 （10-49人：62.1%、5-9人：44.4%、5人未満：28.1%） ※50人以上の事業所での実施率は比較的高い。（100人以上：70.0%、50-99人：70.1%）
2	◎特定保健指導の実施率が全国平均を大きく下回る。 ・特定保健指導実施率（被保険者_直営）が3.1%（46位）と低い。 ・特定保健指導実施率（被保険者_委託）が10.7%（29位）である。 ・特定保健指導実施率（被扶養者）が18.6%（22位）である。 ・100人以上の大規模事業所での実施率が15.0%（44位）と低い。 ・健康宣言事業所の実施率が21.0%（44位）と低い。
3	◎消化器系疾患の入院外医療費、循環器系疾患の入院医療費が全国平均より高い。 ・消化器系疾患の加入者1人当たり入院外医療費は、9,224円（5位）である。（全国平均 8,046円） ・40代以上の被保険者で、医療費が高くなる傾向にある。（1人当たり医療費の全国との差：120円以上） ・消化器系疾患（入院外）における全国平均からの乖離率寄与度は、0.00782（5位）と高い。 ・循環器疾患系疾患の加入者1人当たり入院医療費は、11,348円（8位）である。（全国平均 10,573円） ・50代以上の被保険者で、医療費が高くなる傾向にある。（1人当たり医療費の全国との差：100円以上） ・循環器疾患系疾患（入院）は、全国平均からの乖離率寄与度は、0.001193（8位）と高い。
4	◎睡眠・飲酒・食事・喫煙（女性のみ）における生活習慣要改善者の割合が全国平均より高い。 ・睡眠で休養は取れていない者の割合 男性（44位）：40.6%（全国平均37.6%） 女性（43位）：45.6%（全国平均43.4%） ・飲酒習慣要改善者の割合 男性（34位）：15.6%（全国平均14.9%） 女性（42位）：17.6%（全国平均15.8%） ・食事習慣要改善者の割合 男性（40位）：37.6%（全国平均35.5%） 女性（43位）：31.2%（全国平均29.0%） ・喫煙習慣がある者の割合 女性（33位）：16.3%（全国平均15.1%）

2. 大阪支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

●●支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス及びヘルスリテラシーの向上等を通じ、大阪支部の加入者の健康の保持・増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療を享受できるよう取組を進めることにより、健康寿命の延伸を推進し、大阪支部の加入者・事業主の利益の実現を図ります。

II) 戦略概要

2026(令和8)年の健康保険法改正により、協会の責務として、加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じたきめ細かい予防・健康づくりを適切かつ有効に実施することが明確化されたことを踏まえ、大阪支部の加入者の健康の保持・増進に向けて、第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)に基づき、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、地域・職域の特性を踏まえたポピュレーションアプローチ(集団全体に働きかけることで、全体の健康水準を向上させる手法)に積極的に取り組む等、第4次大阪府健康増進計画等の実現に向けて、関係機関・団体との連携を強化し、地域・職域が一体となった健康づくりを推進します。

さらに、大阪支部の加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう、大阪府における地域医療構想や医師確保計画、第4期大阪府医療費適正化計画等の実現に向けた取組を推進します。

併せて、2026(令和8)年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2026(以下「骨太方針2026」という。)」において、「「攻めの予防医療」を推進し、健康増進、肥満症を含む疾病予防、早期発見、早期介入及び行動変容に関係機関が連携して取り組む」と示されていることを踏まえ、健康寿命の延伸に取り組めます。

2. 大阪支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

【個人の特性に応じた支援】

デジタル技術や協会が保有する医療や健診、給付等のデータを活用し、加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じた適時適切な支援を拡充します。特に、健診案内や予約、受診後のフォローアップ等の実施といったけんぽアプリの環境の整備について、加入者に対して周知広報を積極的に取り組むとともに、保健指導等を効果的かつ効率的に実施できるよう取り組みます。

【健康経営の推進】

事業所が健康経営を実践するため、事業所内で健康経営を経営方針として主導し、健康づくりに関するキーパーソンとなる事業主等への働きかけを一層推進するとともに、多くの事業所が自ら従業員等の健康づくりを進め、事業所全体の健康意識を醸成することを目指した各種取組を実施します。特に、事業所特性や健康経営の取組状況に応じて、事業所のニーズに沿った健康経営視点での企業活動を支援する取組の検討を進めます。

【健診の拡充】

2026（令和8）年度から開始した被保険者に対する人間ドック健診や若年者への健診、2027（令和9）年度から開始する被扶養者に対する健診拡充等における利用状況等を把握し、利用の定着に向けた取組を進め、実施率の向上を図ります。また、健診機関に対して実地調査やコミュニケーションサイト等を通じた密な情報共有等により健診の質の向上と精度管理に努めます。

2. 大阪支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[特定保健指導の量・質の向上]

2026（令和8）年度から人間ドック健診での特定保健指導の実施を必須化したことや、2027（令和9）年度からの被扶養者への健診拡充等に併せて、健診当日の特定保健指導利用機会の拡大等の取組を進めることにより、実施率の向上を図るとともに、特定保健指導の未実施者に対する健康づくり支援を進めます。また、特定保健指導の質の向上を図るべく、効果的で確実な保健師及び管理栄養士の育成に取り組むとともに、保健師及び管理栄養士の採用機会を拡充し、安定的な人材確保に努めます。

[重症化予防の拡充]

これまでの血圧・血糖・脂質・胸部エックス線検査の結果に基づく取組に加え、2027（令和9）年度からは胃がん・大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の結果に基づく受診勧奨も実施します。また、血圧・血糖・脂質については、支部における2次勧奨を引き続き行います。

[ヘルスリテラシーの向上]

協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、事業所に対するメンタルヘルス対策や女性の健康問題に対するポピュレーションアプローチ、喫煙、食事、飲酒、睡眠の対策を主とした生活習慣の改善、学齢期からの健康教育の実施等、地域・職域の特性を踏まえた対応を行うことで、加入者のヘルスリテラシーの向上を図ります。

2. 大阪支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

都道府県における地域医療構想や医師確保計画等の策定や取組の推進に積極的に参画します。地域の現状や課題を把握し、病床機能の分化や医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化、医療・介護連携の推進、医師偏在の是正等に向けた意見発信を行い、地域における効果的・効率的な医療提供体制の構築に向けて保険者に期待される役割を果たしていきます。

[医療費の適正化]

加入者が質の高い医療を将来にわたり持続可能な形で受けることができるよう、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、医療費の適正化に資する取組を進めます。バイオ後続品（バイオシミラー）については、データ分析に基づく医療機関への働きかけを通じて使用促進を図ります。また、地域フォーミュラリの導入・運用に向けて、データ分析や他地域の取組状況に関する情報提供等、地域の医療関係者と連携を図ります。さらに、OTC類似薬の薬剤自己負担の見直しを踏まえ、セルフメディケーションの推進に努めます。